

前回会議からの計画書案の主な変更点について

1 全体について

- ①和暦と西暦が混在していたものを、西暦へ統一。
- ②計画に用いられるフォントについて、UDフォントに統一。
- ③策定委員会（10月2日開催）などでいただいた意見の反映。

2 主な変更点の一覧 ※ページ番号は資料の新たな計画案に対応したもの

ページ	変更内容	説明
P5～8	第2章の本市の自殺者の現状を表すグラフについて、主に5年分のグラフへ変更	現行計画の計画期間と同様の期間を現状として表現するため
P20	基本方針（3）の説明に図を追加	「対人支援のレベル」、「地域連携のレベル」、「社会制度のレベル」それぞれにおいて総合的に推進することを分かりやすく表現するため
P22	施策の体系図 基本施策と重点施策は重なる部分があることを表現する体系に変更。 基本施策、重点施策の補足説明を追加	—
P22, 29	基本施策の項目 「生きることの促進要因への支援」を「生きることの促進要因への支援・生きることの阻害要因の減少につながる支援」へ変更	2つの取り組みを進めることで効果を生むことを表現する必要があるため
P23	指標の見直し	市民全体に係る指標を用いていくことを基本とし、継続的に管理すべきものとするため なお、「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合に関しては、関連計画との整合性を図った目標設定に修正
P42	重点施策 子ども・若者対策の文中に、ありのままの自分を受け入れることができるという視点の文章を追加	委員会からの助言を反映
P44	「計画推進に向けた各主体の役割」を、第5章に追加	第3章 基本方針（5）の内容に対応した記載が明確でなかったため